

市報

と お

3

vol.153



特集

選手を育てる。

選手を育てる。…P4

目 次

まちの話題	10
弥五郎の里 桜まつり	13
図書館だより	14
教育委員会から	15
健康について	16
補助金・年金 etc.	18
生活について	20
子育てについて	22
曾於文藝	23
情報掲示板	24
市民の広場・今月のプレゼント	29
戸籍の窓	30
くらしの情報	31



今月の表紙

今月の表紙は、特集取材で柔心館（財部町）にお伺いしたときの1枚。柔道を心から楽しんで取り組んでいる姿が印象的でした。

世界柔道ブダベスト大会で金メダルを獲得した志々目愛選手も柔心館出身です。この日も市内外の多くの子どもたちが頂点を目指して汗を流していました。

たか森カフェよりお届け!

曾於市の旬を食べる。

第10食目 変わり衣の お野菜コロッケ

材料（2人分）

じゃがいも … 5個
 玉ねぎ …… 1/4個
 人参 …… 小さじ 1/4
 コーン …… 25g
 ひき肉 …… 100g

【調味料】

●砂糖 …… 大さじ 3
 ●醤油 …… 大さじ 2
 牛乳 …… 大さじ 1
 塩コショウ … 適量

【衣】

小麦粉 適量
 卵 2個
 A) 高野豆腐 … 2枚
 B) そうめん … 80g

つくり方

- ① 高野豆腐を戻したら絞ってフードプロセッサーで荒みじん切りに。そうめんは手をつぶし細かくする。
- ② じゃがいもの皮を剥き、適当な大きさに切り、少し形が崩れてくるまで茹でる。
- ③ お湯をすてて鍋を強火にかけ、水分をとばす。マッシャーで形を完全に崩す。
- ④ 玉ねぎ、人参はみじん切りに。ひき肉を炒め、火が通ってきたら玉ねぎ、人参も加えて炒めたら、コーンと●を追加してさらに炒める。
- ⑤ じゃがいもに④と牛乳を加えて混ぜ好みの大きさに成型。
- ⑥ 小麦粉、卵、A)、B)の順に衣をつけ、2～3分きつね色になるまで油で揚げる。



たか森カフェでは旬の食材を豊富に取り入れた野菜ランチ、ピザ、カレー、生パスタなど月替わりでお楽しみ頂けます。他、カフェタイムには、デザートやドリンクメニューも充実!!季節を感じるメニューをお楽しみください。詳しくはホームページをご覧ください。なお、ご予約のお客様が優先となります。

たか森カフェ

毎週金・土曜日 11時～16時営業
 財部町北侯 5410-1 ☎ 0986-28-6120



第21回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、菱ヶ迫さんにご紹介いただいたこの方は、「様々な地域活動にたくさん貢献しているスゴイ人」とのこと。インタビューア―は、三浦恭子でお届けします。

【今回のスゴイ人】

奥野 則夫 さん



今 今回お伺いしたのは、恒吉校区に住む奥野則夫さん。地元の仲間たちと「日輪会（恒吉にあった山城『日輪城』から由来）」を結成し、地域で精力的に活動されています。

日輪会は5年前に結成されたそうですが、その前から育成会やPTA、消防などそれぞれの場所よく顔を合わせていたメンバーが集まったとのこと。「今は団体だからね、ちゃんと定例会として集まって、飲ん方するの（笑）。飲みながら語り合って笑って、大事だよ」と奥野さん。日輪会の定例会は会費制ではなく、一人一品持ち寄りで飲み物も持参。誰もが気兼ねなく集まれる場所となっています。

そこで話すのはやはり「地域を元気にしたい」ということ。恒吉地区では鬼火焚きやゴルフコンペ、そして校区民祭があつて、そこでは毎年寸劇をやっているそう。「演目は毎年違うんだけど、いつも台本なんてなくて、全部アドリブだね。飲みながら2、3回しか練習しないんだけど、みんな笑ってくれるから（笑）。どこの地域も過疎化してるけど、お年寄りが笑っていれば、地域もみんなも元気になるよ」と奥野さん自身、とても楽しそうに話してくれました。

みんなが笑っていれば、地域は元気になる。「地域おこし」の基本であり、一番大事なことを教えていただきました。わたしも奥野さんを見習って笑顔をやささずやっついこうと思います！



協力隊の活動報告

こゆ財団主催の「地域を編集する学校」という全5回の講座に参加しています。宮崎県児湯郡新富町でコピーライターやブロガーの方、また地域デザインに携わっている方々の話を聞き、文章を書くなどの実践をしているのですが、目から鱗が出まくり、アドレナリンも出まくりな講義内容なんです。内容詳細知りたい方はぜひ、三浦までお声がけくださいね（笑）。わたし三浦は、協力隊になって今月でちょうど2年。任期はあと1年となりました。4年目も曾於市に残ってお金を稼いでいくための方法を今まで以上に考えないといけない…周りにも考えてもらわないといけない…と気を引き締める良い機会になっています。吸収したことを曾於市に還元できるよう、楽しいことには前のめりで頑張っていきたいと思います！



2018年2月17日（土）

三浦恭子

特集

選手を育てる。

柔心館道場 西郷昌隆さん

今、勝つためじゃない。これからも続けるためには「基本」ができていないと。基本があって、やっとアレンジができる。

財部町で平成9年から、現在の場所で開かれて

いる柔心館道場。館長である西郷さんは末吉町出身だったが、その頃、財部に柔道を教える道場がなかったことから平成3年から体育館などを利用して指導を始めた。現在の教え子は47名にものぼり、卒業の中には昨年の世界柔道選手権で金メダルに輝いた志々目愛選手も。今では曾於市内はもちろん、伊佐やいちき串木野からも生徒がやってくる。生徒は中学生までとなっているが、下は4歳の子もいて幅広い。

「みんなで練習して、その中で下の子の面倒をみることは当たり前になっていますね。わからない子がいたら、生徒同士で教えたり。復習になっていいんですよ。ただ、『嘘は教えるな!』とは言ってますけどね(笑)」と西郷さん。練習中も、小さい子たちがわからなさうにキョロキョロしていると、上の学年の子たちが手を引いてあげる場面もあった。柔道の練習というと、厳しく容赦ないイメージがあったが、決してゆるんでいるというのではなく、雰囲気良く、生徒たちも明るい。

「練習に来た生徒には、絶対に一回以上会話することになっています。『おやつ何だった?』って聞いてたら、自分から言いに来てくれる子も(笑)。練習中も褒めて、やれることやってないときは叱って、コミュニケーションをとりますね」

西

郷さんが現役の頃、怒ることは指導の大きな部分を占めていた時代だった。負けたら怒られ、勝つても内容が悪いと怒られるというときもあつたという。「その頃があつたから今があるんですけど、当時は『じゃあ、どうしたら』と思つたこともありました」と話す。自主性があれば、きつともっと強くなれるという思いが、今の指導に生きている。

「ガツガツ言つて、『なんでこうしなかつたんだ』って怒つても、そもそも教えてるのは僕たちですから。やらされてるつてなつたらいけない。自分のレベルを落としたりたくない、もつと強くなれるという気持ちが競技を続けることに、自ら努力をすることに繋がります」

県内外の強豪校からスカウトがくるというのも関係しているのか、柔心館を卒業した中学生



全員が高校でも柔道が続けている。4歳から通っているという吉元翔摩くんも中学3年生。強豪校に入学が決まっているが、現在も練習を欠かさない。先生のことを聞くと「色々な技などを教えてくれて、楽しい」と笑顔で話してくれた。

「うちの道場では基本を教えています。『〇〇つて技をやりたい』という生徒もいるんですが、それは基本ができてから。基本が完璧にできてから、アレンジができるんです。勝たせようとすればできるけど、しない。今、勝つためじゃない。早くから勝ちすぎて燃え尽き症候群になつてしまつてもいけないですから」

中学生のときは2位や3位だった子たちが、高校ではインターハイに出ると聞くと「高校の先生方がしっかり指導してくださつたんだ」と、やはり嬉しくなるそう。

「競技を続けていれば、今の仲間にも九州大会とかインターハイとかで会えますからね。それも楽しみみたいです。OBたちもお盆や年末年始にこつちに帰ってきたときは、みんなここで稽古にきます。強い先輩たちをみると、今の子たちも励みになりますし。大会じゃなかなかみれない好カードもあつたりして、面白いですよ(笑)」

柔心館では、昇段試験に受かると西郷さんから

帯をもらうという。そこには柔心館の「心」という文字と自分の名前が刻まれている。

「今度、卒業生の一人が大学に進学しますが、体が大きくなり帯が結べなくなつたので新しいのを作りたいと言つてきて(笑)。もう昔から使つてるからお守りみたいなものなんでしようね」と西郷さん。

土地を離れても、卒業しても続く縁。師弟の強い絆を感じた。



特集

選手を育てる。

末吉カヌークラブ 安藤 正勝さん

練習はきつい。スポーツに楽しさを求めちゃだめだと思ふよ。
でも勝ったときの、普通では味わえない喜びを感じて欲しい。

曾於市では、夏になると各小学校でカヌー教室が

開かれている。7月末には「曾於市カヌー大会」が開催され、昨年は100人近くがレースに参加した。末吉町は「カヌーの町」ともいわれ、曾於市とは縁が深い。続いてきたカヌーとの縁を、今なおつないでいる理由のひとつが「末吉カヌークラブ」の存在だ。監督である安藤さんは、末吉カヌークラブを創設し、全国大会でも優秀な成績を残す選手を、数多く輩出してきた。今では、世界大会を目指すほどに。

「娘が小学4年生からカヌーを始めたんだけど、中学をあがる頃にはカヌーを続けたくても受け入れてくれる場所がなくて、今のクラブチームをつくりました。でも娘が始めたことがキッカケだったから、自分はカヌーに乗ることはできないんだよね」と安藤さん。自身は、学生時代はサッカー、社会人になってからもテニスをするなどスポーツにずっと携わってきた。カヌーの経験はなくても、身体の使い方やメンタルの作り方など、当時の経験が今の指導に生きているという。

「同じスポーツなので、競技は違っても共有する部分はすぐわかる。とはいえ、元が素人だから、情報はなるべく集めるようにしてるね。本を読むのももちろん、遠征にいったら他の指導者がどんなことをしているのか観察したり」

現在

現在、指導しているのは、中学3年生の尾上楓さんと中学1年生の松竹桜来さん。2人とも昨年の全国中学生カヌー大会でシングル優勝を果たすなど、実力ある選手となった。安藤さんいわく「カヌー教室でみたとき、2人とも伸びしろがある」と直感でわかった」とのこと、小学生の時に声掛け、今では見違えるほど上達してきている。

「中学校で辞める子も多くて、こないだも『楽しくないから辞めた』っていう話を他のクラブで聞きました。良い選手だったし、もったいないよね。スポーツに楽しさを求めちゃだめだと思っよ。練習は辛い。楽しいものじゃないけど、勝ったときの喜びはそれ以上のもの。それを感じて欲しい」

実際、尾上さんと松竹さんも「練習はすごくきつい。だけど、一人じゃなくてお互いがいるから



頑張れるし、勝つと嬉しい。再来年の鹿児島国体を目指したい」と話してくれた。

練習は、ただがむしゃらにやるのではなく、「今しておかないといけないこと」というのを念頭に行っている。世界で戦うカヌー選手は、ほとんどが20代後半から30代。カヌーはセンスや技術だけでなく、筋力も必要なため、それらのバランスがとても大事な競技だからだという。だが、「今」にピークを持つてくるためではなく、今しておけば20代のときに有利な練習を組んでいるのだ。

「カヌーは手で漕ぐイメージだけど、本当に大事なのは下半身と体幹。陸上でのトレーニングも重要。楓も桜来も同世代以上の、本当に驚かれるくらいの身体能力をもっている。だから、『中学生で一番』というのではなく、常に上を見て高いレベルを目指して欲しい」

現在のトレーニング内容は、全日本選手のもの参考にしたりと、常に高いレベルで練習を行っている。なにより「ケガをしない身体をつくる」ということを考え、季節や曜日ごとに内容も変えているそう。トレーニング表を見せてもらうと学校終わりの午後練だけでなく、朝練や自宅練、土日は終日予定が組まれていた。

「監督は練習中だけ、口を出しておけばいいけ

ど、本当に大変なのは親御さんだと思いますよ。選手が頑張れるのは家族の支えがあつてこそ。指導者と選手と保護者、全員が同じ方向を見ていないとうまくいかない。自分も保護者だったから気持ちもわかりますし。だから、保護者の方々には本当感謝しています」

誰かの一方通行ではいけない。信頼関係があつてこそ、良い結果が生まれるのだ。



特集

選手を育てる。



曾於高校 西亮介 先生

競技を好きになってもらうことが前提。勝ち負けだけに目を向けるのではなく、自己記録の向上を目指してほしい。

元々、出水市が出身だという西先生は、曾於市に

赴任してきて10年。末吉高校時代から牛の担当をしているが、放課後は曾於高校と大隅中学校の陸上部の指導にあたっている。元々は高校の指導だけだったが、7年前に大隅中の陸上部顧問が空いてしまったため、外部指導員として指導にあたるようになった。

大隅中学校は県の駅伝大会などでも優秀な成績を残す強豪校のひとつ。曾於高校も一年目は部員は男子生徒一人だけだったものの、高校から長距離を始めたという選手を育てあげ、箱根駅伝常連校である山梨学院大学に進学した。

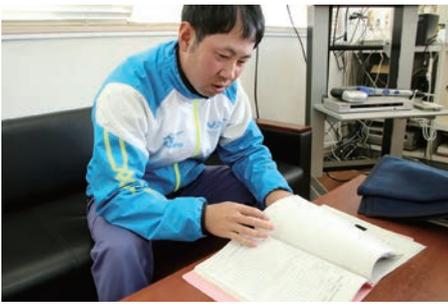
「練習には高校生と中学生、やりたいと言ってきた小学生も参加しています。曾於地区は陸上をしている子が少ないので、県下一周駅伝や女子駅伝で走る地元の子がいなくなってしまうのでは、と不安になるほど。他の部活をやっている子にも声をかけて、かなり営業活動はしています」と西先生。女子駅伝の監督や県下一周駅伝でのサポートなど、曾於地区において、欠くことのできない存在となっている。

「選手も地域で育てて、地域で活躍できればと思っています。ただ、中学で育っても市外の強豪校に行ってしまう子もいて、本当は曾於高校に来てほしかったと思うことも（笑）。だけど、活躍してくれるとやっぱり嬉しいですね」

今の指導も、数年後の県下一周駅伝、女子駅伝のことは見据えていること。陸上を続けて、曾於チームとして走る日がきてくれたらいい。そのためには、競技を続ける選手を増やすことが大事になってくる。

「まずは好きになることが前提ですね。楽しんでもらう、喜びや達成感、やればできる実感をもってもらうのは大事。勝つことや負けることだけじゃなくて、自己記録の向上を目指すことだと生徒たちにはよく話します」

その一環として行っているのが、「目標設定シート」というもの。半年に一度「競技成績目標」や「目標達成時の人間像」、「達成するための具体的な行動」などの事細かな項目を生徒たちに埋めてもらう。これを元に自身を追い込み、また達成した喜びを知る。



「陸上は日々の練習が本当に大切。やればやっただけ返ってくるから、『継続は力なり』ですね。長距離は特に努力すれば記録がついてくる。だけど、ただ言われたことをやるのではなくて、自分で考えて努力してほしい。やっぱり一生懸命やることに対しては、こっちも一生懸命返さないといいですよね」

考える力を育てるため、日々の練習でも「どこが大事かちゃんと説明してから練習させる」という。状況に合わせて意図を説明することで、意識を持たせる。練習中も選手たちの様子を見て、気になることがあれば伝えるなど、対話を欠かさない。西先生の教え子一期生として、当時大隅中2年生だった堀口あずきさんは、現在、実業団で走っている。西先生のことを聞くと「自分では気づかないこともよく見てくれていた。中学の時、走るのが楽しくなかったらここまで続けてないと思う」と笑顔で話してくれた。

「高校教師の宿命として、自分がいなくなる時は必ず来る。だけど、ここでやれるだけやろうと考えています。曾於高校に指導を受けたいと言って入ってきてくれた子もいるし、地域に還元できたらと思っています」

曾於高校陸上部は現在13人。副キャプテンである鮫島喜樹くんは、山梨学院大学にいった先輩に憧れ、西先生に指導を受けたいと地元曾於高校に入学。今年は県下一周駅伝のメンバー21人に選ばれた。

「西先生に声をかけてもらえたから、曾於高校に来ました。走るのはすごく楽しいです」と話す鮫島くんの笑顔に、先生と生徒を超える確かな絆がみえた。



曾於市の出来事
お届けします！



SOO City
NEWS

住宅取得祝金を贈呈



10月27日に行われた交付式



1月23日に行われた交付式

平成29年10月27日と平成30年1月23日に市役所本庁で住宅取得祝金の贈呈式が行われました。市では、住宅を新築または購入された方にお祝いとして、現金と地域商品券を支給しています。市外から転入して1年以内の方には、左記祝金に商品券5万円分と現金5万円が加算されます。詳しくは、本庁企画課定住推進係（☎0986-76-8802）までお問い合わせください。

対象

- ・市内に居住するため住宅を新築または購入した方
基本の祝金等
- ・市内業者による新築 商品券10万円分と現金10万円
- ・市外業者による新築 商品券5万円分と現金5万円
- ・未入居の建売住宅購入 商品券5万円分と現金5万円
- ・右記以外の中古住宅購入 商品券2万5千円分と現金2万5千円

SOO City
NEWS

厚生労働大臣表彰を受賞



1月12日、平成29年度社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞された民生委員の永野美喜子さんが、市長へ報告に来られました。これは、民生委員として20年以上在職されている方に対し贈られるものです。永野さんは、平成4年12月に民生委員の活動を始め、現在も地域福祉のために尽力されています。市長は「長年の社会福祉へのご尽力に感謝申し上げます。今後も地域のために協力をお願いします」と話しました。

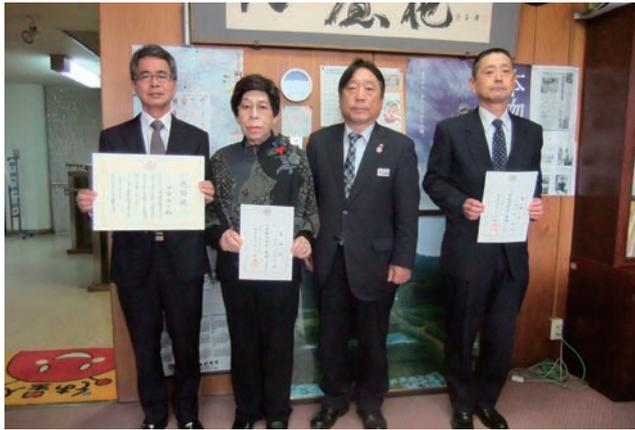
SOO City
NEWS

吹奏楽フェスティバルを開催



12月10日、末吉総合センターで曾於市吹奏楽連盟主催の「第7回曾於市吹奏楽フェスティバル」が開催されました。このフェスティバルは、市民提案型地域づくり事業の一環として、市内吹奏楽団体の演奏向上と交流をはかるために行われたものです。当日は末吉小、岩川小、財部小、末吉中、大隅中、財部中、曾於高校メセナ楽団の8団体が参加。最後には、全体合奏で「365日の紙飛行機」に挑戦し、会場が一体となりました。

SOO City NEWS 市民の人権を守るために



平成29年12月31日付けで2名の
人権擁護委員が任期満了となり、
内1名が新しい委員と交代されま
した。
退任されたのは津留伸二さん
(大隅町・写真左端)で、人権擁
護委員として3年間尽力されまし
た。その功績をたたえ、鹿児島地
方法務局長より感謝状が贈られま
した。後任として、法務大臣より
田ノ上晃さん(大隅町・写真右端)
へ委嘱状が交付されました。
また、山内千代子さん(末吉町・
写真中央)にも再任用として委嘱
状が交付されました。

SOO City NEWS 曾於高溶接工作部が九州2位



1月19日、「第10回九州地区高校
生溶接技術競技会」で団体の部準
優勝に輝いた曾於高校溶接工作部
の皆さんが市長へ報告に来られま
した。
出場したのは、3年の井之元璃
玖さん、井上朋哉さん、2年の児
玉勇人さんの3人。優勝した長崎
工業高校とはわずか6点差で惜し
い結果となりました。個人の部で
は、児玉さんと井上さんが優秀賞
井之元さんが優良賞で全員が入賞
しました。児玉さんは「先輩のお
かげでここまでこれた。来年は優
勝を目指します」と話しました。

SOO City NEWS 分譲住宅地の販売に向けて



1月23日、市と大隅北校区公民
館および柳迫校区公民館が分譲住
宅団地の販売に関する連携協定を
締結しました。
本協定は、4月からそれぞれの
地域内に整備される分譲住宅の販
売に向け、市と校区公民館が相互
に連携・協力し、地域における若
者の定住促進および地域の活性化
を図ることを目的としています。
今後は、分譲住宅地販売に向け
た積極的な行動と情報の提供など
の必要な相互協力を行っていきま
す。

SOO City NEWS フラワーアレンジメントを体験



1月23日、末吉総合センターで
「食と農と女性の会」主催の講演会
とフラワーアレンジメント教室が
行われ、55名が参加しました。
講師は、大隅町で菊農家を営む
小濱健一さん。「みえないところに
大事なものがある」と題し、笑い
あり涙ありの講演となりました。
講演会の後、末吉でフラワー
ショップ「花カフェ」を経営され
ている東原秋子さんのフラワーア
レンジメント教室が行われまし
た。小濱さん提供のスプレー菊を
使い、華やかなアレンジジッフラワ
ーができ上がっていました。

SOO City NEWS 少年剣士へ熱血指導！



1月27日、末吉総合体育館で赤鷲旗剣道大会が開催され、小中学生約500人が熱戦を繰り広げました。

この大会は、渡辺組名誉会長の渡邊信雄さん（故人）が少年少女の育成を目的に創設したものです。

試合前には、鹿児島県警による剣道教室があり、少年剣士へ切り返しや面打ちなどの基本稽古を熱心に指導していました。指導した富永教介さんは「学んだことを日々の稽古に生かして、技を磨いて欲しいです」と話しました。

SOO City NEWS イノシシが牛舎で日向ぼっこ



生産牛農家の西村一己さん（財部町）の牛舎にイノシシが居つき、話題を呼んでいます。

1月24日の取材日も体高約40㎝のイノシシが牛舎で日向ぼっこをし、牛とじゃれ合っていました。

牛や農作物に危害を加えたらいけないと地元の猟友会に連絡。「こんなことは珍しい」と言われ駆除を断念しました。

今も（2/15現在）イノシシは居すわっており、西村さんは「危害も加えないので当分の間は見守ります。守り神みたいなもんかな」と話しました。

SOO City NEWS 若手女性農家が意見を交換



2月7日、大隅農産加工センターで若手女性農業者による意見交換会が開かれました。

企画したのは「So^ソoWo^ウoman Farmers」で、農家に嫁いだ方の集いの場を設けたいと始めたものです。

当日は19名が参加し、家事と育児の両立についての悩みを打ち明けたり、「作業をするとポケットにゴミがたくさん入る」といった農家ならではの悩みで盛り上がりつつありました。参加者は「悩みを共有できてスッキリした。前向きになりました」と話しました。

SOO City NEWS 講演で心を元気に！



2月4日、大隅文化会館で「こころの健康づくり講演会」が開催されました。

講師はフリーアナウンサーの宮本隆治さん。「ゆとり・ユーモア・帰りは元気！」と題し、アナウンサーとしての豊富な体験談や緊張したときの対処法など、ユーモアを交えての分かりやすいお話に、会場は笑い声で包まれていました。

来場者は「ゆとり・ユーモアのある話し方で本当に心が元気になりました」と話しました。



弥五郎の里 桜まつり

平成30年3月24日(土)～4月8日(日)

弥五郎伝説の里にて

焼肉広場

上記期間中の11時から21時まで焼肉ができるよう広場を開放!
17時から21時までは提灯も点灯するので夜桜見物も◎
桜を見ながらの焼肉を楽しめます。

イベント

4月1日(日)午前11時～午後4時

僕たちも
遊びにいくよ!



…他にも出店など多数…

ステージイベント

- ★ 弥五郎太鼓の演奏
- ★ バルーン「ゆうき」
- ★ 各保育園のお遊戯
- ★ ゆるキャラ
- ★ カラオケ・抽選会
- ★ 演歌少女「まひる」

ちびっこコーナー

- ★ ミニSL機関車
- ★ ゆるキャラとの記念撮影
- ★ バルーン「ゆうき」によるバルーン体験コーナー

主催・弥五郎の里桜まつり実行委員会

問い合わせ先

市役所 (大隅支所) ☎ 099-482-5950

商工会 (大隅支所) ☎ 099-482-1432



新着本のお知らせ

本館 (末吉)	大 隅	財 部
<p>【一般書】 『ハリケーン』 高嶋 哲夫 『婚約迷走中』 群 ようこ</p> <p>【児童書】 『星を追う子ども』 新海 誠 『どうくつをこねる糸川くん』 春間 美幸</p> <p>【絵本】 『じてんしゃのれるかな』 平田 利之 『はりねずみのルーチカりんごとれるかな?』 北見 葉胡</p>	<p>【一般書】 『それ自体が奇跡』 小野寺 史宜 『風神の手』 道尾 秀介</p> <p>【児童書】 『シロクマが家にやってきた!』 マリア・ファラー 『ゆけ、シンフロ部』 堀口 泰生</p> <p>【絵本】 『アヒルさん』 ばば しげやす 『だいすき♥こぼんだ』 平田 貴章</p>	<p>【一般書】 『崩れる脳を抱きしめて』 知念 実希人 『父子ゆえ』 梶 よう子</p> <p>【児童書】 『図書館の怪談』 斉藤 洋 『おばけのアッチとくものパンやさん』 角野 栄子</p> <p>【絵本】 『あっぱれ! ぱくつ』 せき ゆうこ 『おばけのまめ』 accototo</p>

一般
 『文字に美はありや。』 伊集院 静

児童
 『しりとりにボクシング』 新井 けいこ

絵本
 『なきごえたくはいびん』 えがしら みちこ

一般
 『星空の谷川俊太郎質問箱』 谷川 俊太郎

3月のおはなし会 ご案内

本館 (末吉)	大隅	財部
<p>「ちゃいはな」 絵本の読み聞かせや手あそび歌 毎週土曜日(3,10,17,24,31日) 午後2時から</p> <p>「おひざでよんで」 28日(水) 午前11時から</p> <p>「夢劇場」 キュービック作りとおはなし 25日(日) 午後2時から</p>	<p>「トトロ」 キュービック作りとおはなし 11日(日) 午後2時から</p> <p>「祝子(はふりこ)」 昔話やわらべうたを楽しむ 17日(土) 午前11時から</p>	<p>休館日 毎週月曜日・第3水曜日</p> <p>毎月23日は 10冊貸出できます</p>

今回お勧めする1冊は120ページ程のエッセイ集です。猫をこよなく愛する著者が不思議な縁で、同じく無類の猫好きな詩人・北村太郎と鎌倉の同じ家で暮らすことになり、そこから始まる物語は、日々の飾らない優しい詩人の姿や暮らしぶりを淡く、ぬくもりのある筆致で描かれています。

著者・橋口幸子さんは末吉町岩崎のご出身、フリーの校正者として長年活躍されてきた方です。読みやすく、心温まるエッセイ集ですので、珈琲とエクレアとご一緒にいかがですか。

『珈琲とエクレアと詩人』
 橋口 幸子

曾於市立図書館 館長
 落合 祐一さん

とっておきの本、
 教えます。



学校関係。
出来事のご報告。

教育委員会から

Education

Notice
2018. 3

平成 30 年度曾於市育英奨学生の募集について

by 教育委員会総務課 ☎ 099-482-5956 末吉分室 ☎ 0986-76-8814 財部分室 ☎ 0986-72-0945

曾於市では、向学心に富むが、経済的な理由により修学が困難な生徒に対し、奨学金の貸与制度を設けています。

奨学生の資格

- ▶ 保護者が2年以上市内に住所を有し、今後も居住する見込みであること。
- ▶ 世帯全員の総所得が600万円以内であること。
- ▶ 高等学校等、短期大学等または大学等に在学し、学校長の推薦があること。
- ▶ 貸与の期間が2年以上であること。
- ▶ 入学支度金の貸与を受ける場合は、市外の寮・アパート等に居住（予定含む）すること。

申請期間（入学支度金申請および育英奨学資金申請共通）

- ▶ **平成30年3月30日（金）まで**

貸与額

- ▶ 入学支度金 1回に限り50万円
- ▶ 育英奨学資金 高等学校等に在学する方・・・月額10,000円（年額120,000円）
短期大学等および大学等に在学する方・・・月額40,000円（年額480,000円）

申請書類の設置場所

- ▶ 申請書類は、教育委員会総務課（大隅支所3階）、末吉分室（末吉中央公民館内）、財部分室（財部中央公民館内）にあります。ご不明な点は、上記問い合わせ先にご連絡ください。

※詳細については、市ホームページをご覧ください。



広告

☆学校給食調理スタッフ大募集!!☆

- ◆勤務地 曾於市学校給食調理場（年齢・経験不問）
- ◆条件 ①調理員（契約社員）8:00～17:00
②調理補助（パート）8:30～15:00
- ◆給与 給与についてはお問い合わせください。
- ◆休日 土日祝、年末年始、学校の長期休暇中
- ◆待遇 社保完備・制服貸与・交通費規定支給・車通勤可

連絡先 **シダックス大新東ヒューマンサービス(株)**

Tel. 0986-28-8331（受付/平日9～17時）

※電話連絡の上応募方法を説明致します。

◎曾於市ホームページ バナー広告募集！

市民の方への企業紹介、市の財政収入の確保や企業の活性化に貢献するために、曾於市ホームページに掲載する有料広告を募集しています。

企業のPRやイメージアップなど波及効果の期待できる広告媒体です。ぜひ活用ください。

【お問い合わせ先】

曾於市役所 企画課 総合PR係 ☎ 0986(76)8802

健康について

Health

予防は治療に
勝る！



Series
Vol.127

健康コラム 食べること

by 健康推進係 歯科衛生士

そろそろ就職や進学で親元を離れ生活する人もいらっしゃるでしょう。慣れない土地での生活に仕事や学業全て初めてづくし…楽しみや不安も入り混じる時期は生活のリズムも狂いがちです。慣れることは意外と大変なので基本的な生活習慣をお子さんに今一度伝えていきましょう。

生きることは食べること…しかし食べ方によっては肥満・糖尿病・高血圧症など生活習慣病を引き起こします。

一日3食が基本です。まずは朝食をしっかりとりましょう。ごはん、味噌汁、目玉焼きに野菜など簡単な調理ができる心安心です。煮る・焼く・炒める・蒸すなどの調理法に味付け。最近はパソコンやスマホで時短料理も簡単に検索できます。また、コンビニやスーパーの惣菜コーナーもとても充実しています。できるだけバランスよく食事が摂れるように組み合わせなど教えてあげましょう。いろいろなストレスがあると「食べること」に向く場合が多いので過食にならないようによく噛んで食べるようにしましょう。

食べるためのお口は健康でしょうか？お口のトラブルもストレスから起こる場合もあります。むし歯や歯周病の治療を済ませておくのも大切です。

3月 健康カレンダー

2018

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					6カ月児相談	
4	5	6	7	8	9	10
		母子手帳交付	1歳6カ月児健診	離乳食教室	1歳児相談	
11	12	13	14	15	16	17
		母子手帳交付	3歳児健診	4歳児歯科検診		
18	19	20	21	22	23	24
		母子手帳交付				
25	26	27	28	29	30	31
	心が元気になる相談室	母子手帳交付	2歳児健診			

★特定健診・がん健診

平成30年度 特定健診・がん検診の集団健(検)

診は4月から始まります。

お申込みがまだお済みでない方は、下記までお問い合わせください。

保健課

☎ 0986-76-8806

★心が元気になる相談室

カウンセラー：勝吉恵美子先生（臨床心理士）

健康のこと、ご家族のことなど、お気軽にご相談ください。

開催日：3月26日(月) 午後1時30分～ 場所：末吉中央公民館

※ご予約は介護福祉課まで (☎ 0986-76-8807)